

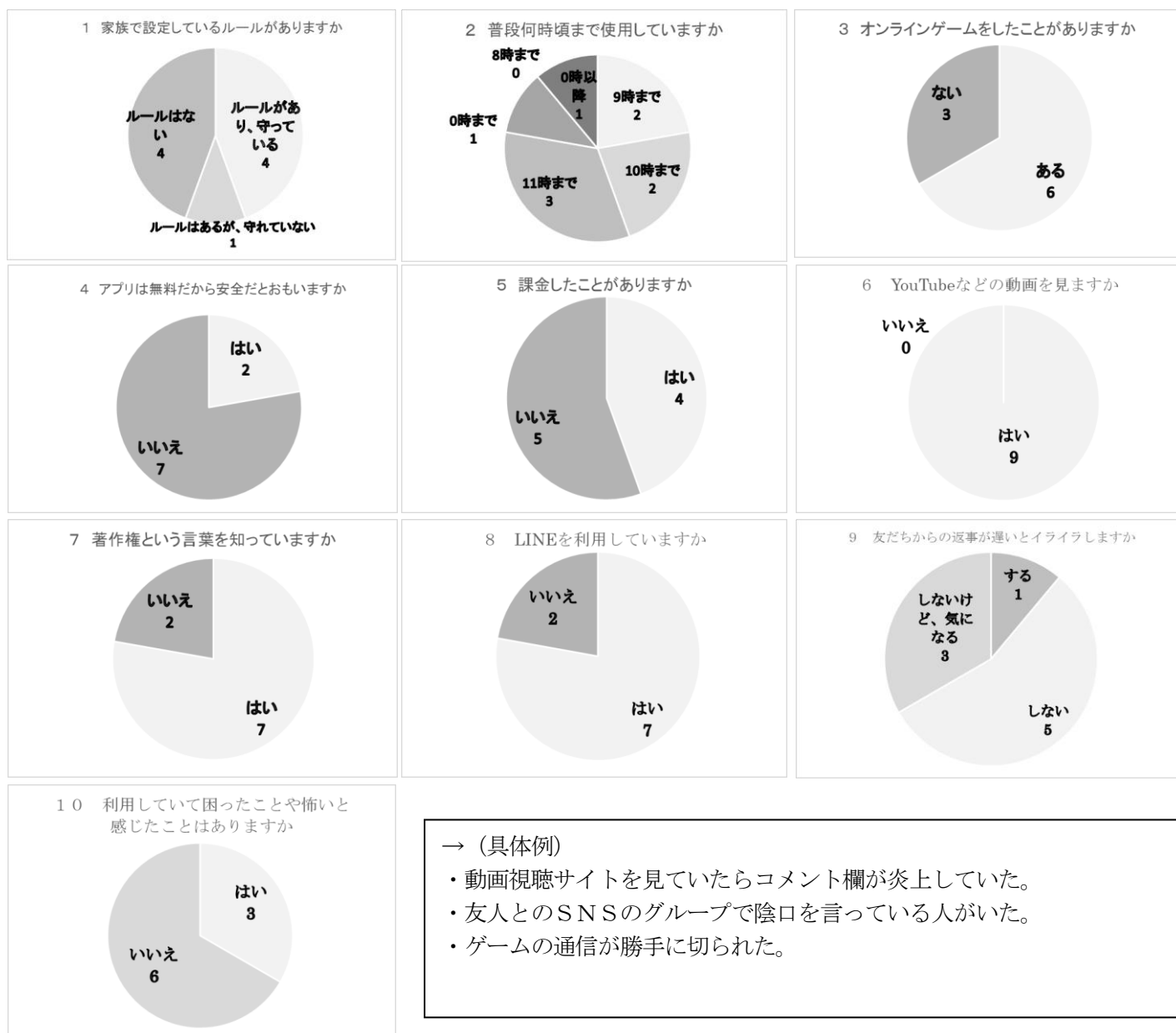
## 情報モラル教育実践授業報告書

対象学年	高等部 1年 教育課程Ⅲ (特別支援学校(知的障害)の各教科の目標・内容を取り入れた教育課程)
領域	教科指導(情報科)
指導項目	情報モラル 啓発ポスター作り

情報モラル指導モデルカリキュラム ( <a href="http://kayoo.org/moral-guidebook/model/model-curriculum.html">http://kayoo.org/moral-guidebook/model/model-curriculum.html</a> )			
指導分野	安全への知恵		
コード	d5-1 d5-2	指導事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報社会の特性を意識しながら行動する。</li> <li>・トラブルに遭遇したとき、さまざまな方法で解決できる知識と技術をもつ。</li> </ul>

授業前の生徒の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日長時間、動画視聴やゲームをしている生徒がいる。</li> <li>・友人とのSNSのやり取りで、誤解からトラブルになることがある。</li> <li>・普段何気なく利用しているネットワークの危険性を把握していない。</li> </ul>
生徒の心理的成長過程に応じた指導の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校高等部の生徒は、こだわりが強く一つのことにのめり込む傾向があり、実際にネット依存に陥ったこともある。反面、他人に流されやすい傾向もみられる。周りが利用しているという理由で何気なく利用している生徒に対して、感想を伝え合うことで、危険性を知らせるよう工夫した。</li> <li>・考えることが苦手な生徒でも活動しやすいように、ワークシートを動画に合わせて記入できるように工夫した。</li> </ul>
期待される生徒の変容 (実践のねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネット依存の危険性やその対策方法を考えることができる。</li> <li>・インターネットの利用にはプラス面とマイナス面があることを知り、安全に利用するための方法を考えることができる。</li> </ul>
生徒の変容を促すための授業の工夫(ポイント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分かりやすいアニメ動画を利用することで、生徒が興味をもって学習に取り組むことができるようにする。</li> <li>・発表を通して、各自が考えた内容を共有する場を設ける。</li> <li>・学習の成果をポスターとして掲示し、校内の小学部や中学部の児童生徒にも興味をもってもらえるようにする。</li> </ul>
利用するコンテンツ等 (サイトのアドレス) または資料等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報モラル教材 ネット社会の歩き方 (<a href="http://www2.japet.or.jp/net-walk/">http://www2.japet.or.jp/net-walk/</a>)</li> <li>高校生 16 「他人の絵や文章のコピーは要注意」</li> <li>高校生 29 「ネット依存に注意」</li> <li>高校生 43 「画像や動画の投稿は自由？」</li> <li>高校生 51 「ネットゲームの落とし穴」</li> <li>高校生 53 「読まれたのに返事がこない・・・」</li> <li>高校生 54 「やめたいけれど、やめられない・・・」</li> <li>高校生 60 「ケータイゲーム機に夢中になると」</li> </ul>

## 事前アンケートの結果（9人対象）



## 結果の考察

- ・スマートフォンなどの携帯情報端末を利用する際、家でルールを設定している家庭としていない家庭は、ほぼ半々であった。ルールを設定していない家庭では、親も自由に使っているからルールを設定していない家庭が多かった。ルールを設定している家庭でも「課金をしない」「夜遅くまでやらない」といった曖昧なルールにとどまっている家庭もあった。
- ・使用終了時刻は、多くの生徒が「21時～23時」と回答していたが、平日を想定しての回答である。使用時間を確認すると5時間から6時間という回答が多かったため、帰宅後はほぼずっと使用していることになる。休日は更に時間が増えていると考えられる。
- ・主に動画視聴やゲームにインターネットを利用している生徒が多いが、よく分からないままインターネット上にコメントをしていたり、用語は知っているが内容を知らなかったりと危険性を知らずに利用している生徒が多い。

## 事後アンケートより（授業の感想）

- ・私も夜中にスマートフォンがやめられなくて同じだと思いました。
- ・ネット依存は自分のことだと思った。
- ・ネット依存のことは前から知っていましたが、改めて危ないことを知りました。
- ・中学のときにネット依存になったことがあります。本当に危険なことではなかなか抜け出せないのが怖いのです。
- ・夜中までゲームをしているといけな思いました。夜はちゃんと寝たいです。ゲームはいつでもできるから我慢した方がいいと思います。
- ・他人が作成した画像を無許可で使うと、法律違反になることを知りました。ホームページの柄や画像はオリジナルのものを使った方がいいと思います。
- ・他人が作成した画像をサイトに許可なく載せるのはいけないことだと知りました。ちゃんと投稿しても大丈夫か確認してからアップロードしようと思います。
- ・音楽や映像の投稿で著作権侵害になることがあるということが分かりました。
- ・SNSはすぐに返信しなくてはならないというルールはないので、無理をしないようにしたいです。困ったら親や先生に相談します。

## 作成したポスターの一つ

清見モコル学舎 1年 名前( )

# 他人の絵や文章のコピーは要注意

✓ 雑誌に載っていた、アニメの写真を撮りブログに勝手に載せた。

↓

**許可を得ていなければ法律違反だと指摘された**

○対策

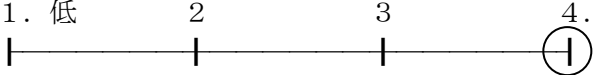
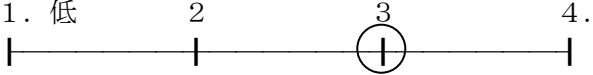
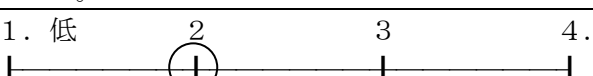
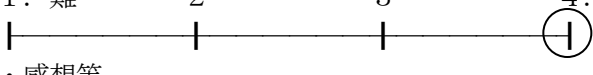
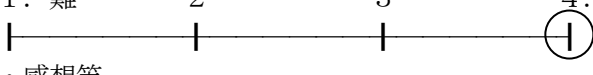
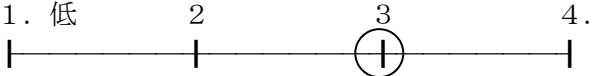
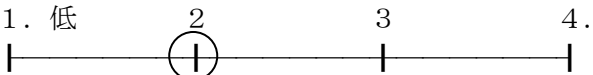
- ✦ 「著作権」は、「私が作ったものを勝手に使ってはいけません」という権利で、法律で守られている。  
(作ったもの：文字や写真、イラスト、音楽、踊りの振り付けなど)
- ✦ 他人が作ったものを無断でコピーして、ブログやホームページに使うてはいけない。
- ✦ きちんと許可を得て利用すれば、問題はない。
- ✦ できるだけ自分で考えたキャラクターなどを使う。

○感想

無許可で使うと、法律違反になることを知りました。ホームページの柄や画像はオリジナルのものが使われていた方がいいと思いました。

「ネット社会の歩き方」6巻

# 評価

児童生徒について	生徒の興味・関心の度合い	1. 低                      2                      3                      4. 高  理由・感想等 ・動画が好きな生徒が多く、教材として興味・関心が高かった。
	生徒の理解度	1. 低                      2                      3                      4. 高  理由・感想等 ・生徒の行う活動が分かりやすく、どの生徒も授業に取り組むことができていた。ネット依存について、気を付けなければいけないこととして認識できていた。
	生徒の変容の度合い	1. 低                      2                      3                      4. 高  理由・感想等 ・事例を知ることによって、気を付けようと反省を書く生徒が多かった。実際に行動として変容するにはもう少し深めた指導が必要であると感じた。 ・ポスターとして掲示するときさまざまな人から声をかけられるので、継続指導につながり、生徒の意識を高めることができた。
授業について	事前準備の難易度	1. 難                      2                      3                      4. 易  理由・感想等 ・動画の内容によってまとめ方にばらつきがあるので、事前に確認をしておく必要がある。
	指導者にとっての授業展開の難易度	1. 難                      2                      3                      4. 易  理由・感想等 ・授業展開は容易である。 ・支援が必要な生徒または理解度の低い生徒には、TT などによる手助けがあるとよい。
	授業の「ねらい」の達成度	1. 低                      2                      3                      4. 高  理由・感想等 ・インターネットの利用経験が少ない生徒であっても、どんなトラブルがあるのかを、事例を通して伝えることができた。
	指導方法の効果の度合い	1. 低                      2                      3                      4. 高  理由・感想等 ・生徒の反応や実態に合わせて事例を取り上げて、より詳細に伝えていくと効果的であると感じた。
<実践の感想及び反省点等> ・年度始めの早い時期に取り組み、多様な視点からの継続した指導が必要だと感じた。 ・生徒の作品を掲示したことで、さまざまな人から声がかかり、生徒が達成感を得ることができて効果的だと感じた。 ・生徒の感想やアンケートの回答と実際の行動には差があるので、生徒の心情に影響を与える、深い学びが必要だと感じた。		

## 実践例

配当時間		学習のすすめ方	指導のポイント
導 入	5 分	1 本時のめあてを確認する。  2 自分が担当する内容を知る。  3 指導者の指示をもとに、動画視聴の方法を確認する。 ・インターネットで「ネット社会の歩き方」を検索する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前アンケートや実態把握を基に、誰がどの内容に取り組むか決めておく。</li> <li>・プロジェクタで手順を写しながら、一緒に確認する。</li> </ul>
展 開	40 分	4 生徒がそれぞれの動画を見て、内容を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             &lt;今回取り組む内容&gt;              他人の絵や文章のコピーは要注意              ネット依存に注意              画像や動画の投稿は自由？              ネットゲームの落とし穴              読まれたのに返事がこない・・・              やめたいけれど、やめられない・・・              ケータイゲーム機に夢中になると           </div> 5 動画をもう一度見ながら、ワークシートに自分が考えたことを記入する。 ・タイトル、内容、原因、対策を記入する。  6 ワークシートを基に発表し合う。  7 発表を聞いた感想を伝え合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・TT の教員は、生徒が動画をしっかりと見るように巡回する。</li> <li>・活動に取り組みやすいように対策例が表示される内容を選択しておく。</li> <li>・ワークシートの記入につまづいている生徒にはどの場面を見るとよいかアドバイスを伝える。</li> <li>・適切な感想は板書し、話題に取り上げて共有する。</li> </ul>
ま と め	5 分	8 今後の学習展開を知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回のワークシートを基にポスターを作成することを伝える。</li> </ul>

## 情報モラル教育を広げるための方策と課題

情報モラル教育を広げるための実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報科の教員でなくても簡単に取り組める内容を設定することで、多くの教員に、興味・関心をもって参観してもらった。</li> <li>・ワークシートは「情報」の授業で作成し、ポスターは「美術」の授業で作成するなど、教科横断的な取組を行った。</li> </ul>
情報モラル教育を広げるための課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな事例の概要は理解させることはできた。しかし、生徒の実態に合わせて、自分なりに考えた原因や対策を考察するよう促すことで、生徒の実体験に結び付けるなど、より深い学習をさせる必要があると感じた。</li> </ul>